

内閣府本府所管統計調査に関する点検・評価の様式

政府統計コード	00100304
基幹・一般の別(選択記入)	その他の一般統計調査
調査の名称	企業の事業継続及び防災の取組に関する実態調査
政府内における調査結果の利活用状況 ※該当するものを選択(複数選択可)	<input type="radio"/> 重要な政策の立案・実施・評価の直接の根拠資料として利用
	<input type="checkbox"/> 国が給付する手当や給付金の算定根拠として利用
	<input type="checkbox"/> 月例経済報告に利用
	<input type="checkbox"/> 基幹統計の作成に利用
	<input type="checkbox"/> 基幹統計以外の重要な統計の作成に利用
	<input type="checkbox"/> その他
特記事項	

① 調査計画との整合性確保等の観点

<div>調査計画との整合性 (整合している場合チェック)</div>	<div><div><div><div><div><div>☑ 1.調査の目的</div><div>☑ 2.調査対象の範囲 ※</div><div>☑ 3.報告者数等※</div><div>☑ 4.報告事項とその基準期日 ※</div><div>☑ 5.報告の方法 ※</div><div>☑ 6.報告を求める期間 ※</div><div>☑ 7.集計事項 ※</div><div>☑ 8.結果の公表方法及び期日 ※</div><div>☑ 9.使用する統計基準</div><div>☑ 10.調査票情報の保存</div><div>☑ 11.立入検査</div></div><div><div>報告を求める個人又は法人その他の団体(報告者)の数等</div><div>報告を求める事項及びその基準となる期日又は期間</div><div>報告を求めるために用いる方法</div><div>調査結果の公表の方法及び期日</div><div>調査票情報の保存期間及び保存責任者</div><div>基幹統計調査のみ</div></div></div><div>全項目整合</div></div></div></div>
---	--

(注1)「※」を付している一般統計調査の点検項目については、調査事項の10%未満の変更等、承認を要しない「軽微な変更」の範囲や公表内容との整合性に留意して点検を実施

(注2) 不整合は生じていないものの、調査計画の改善を検討（予定）している事項がある場合はシート②で記載

② 統計の品質確保・向上を図るための統計作成プロセスの水準の段階的な向上の観点

業務マニュアル等の 整備・共有の状況 及び 実際の業務の実施状況 の確認等	<div><div><input type="checkbox"/> 課題なし</div><div><input type="checkbox"/> 課題あり、見直し・改善を実施（予定含む）</div><div><input type="checkbox"/> その他（例：課題精査中、課題はないが見直し・改善を実施（予定含む）等）</div></div>
---	--

	見直し・改善の概要(自由記入)	見直し・改善の内容（左記の類型） （該当するものを選択、複数選択可能）	見直し・改善の対応方法・手段 （複数選択可能）	対応状況 （選択記入）
記入欄 No. 1	調査方法は郵送・オンラインの併用で、実査・審査・集計業務の一部は民間事業者に委託している。このうち、オンライン調査では、委託先が構築する独自のシステムを利用している状況であり、今後は業務の効率化などを行うため、政府統計共同利用システムの利用に向けた検討を進める。また、政府統計共同利用システムの利用の検討と併せて、既存の仕様書や業務マニュアルについて整備・見直しを行う。	<div><div><input type="radio"/> 調査計画の見直し・改善</div><div><input type="radio"/> 業務マニュアル等の整備・充実・改善</div><div><input type="radio"/> 品質の表示</div><div><input type="radio"/> 変更管理の実施</div><div><input type="radio"/> 遅延調査票への対応</div><div><input type="radio"/> 外部委託先からの意見や改善提案の聴取</div><div><input type="radio"/> DXの実施、データのデジタル化</div><div><input type="radio"/> システムの要件・仕様の可視化</div><div><input type="radio"/> プロセス診断結果の取り込み</div><div><input type="radio"/> その他プロセスの段階的な向上に向けた取組</div></div>	<div><div><input type="radio"/> 調査計画の変更申請</div><div><input type="radio"/> 調査計画の軽微変更</div><div><input type="radio"/> 業務マニュアルの整備・充実</div><div><input type="radio"/> 実施方法の見直し</div><div><input type="radio"/> その他</div></div>	対応中/対応予定

③ 必要な精度の確保・向上の観点

	目安としている指標の設定状況			目安としている指標の具体的推移 (自由記入。別紙も可)		
	精度管理の目安としている指標区分 ※該当するものを選択(複数選択可)	目安としている指標の具体的な 設定内容・考え方等 (自由記入。別紙も可)	目安としている 指標の設定時期 (自由記入)	今回調査 (又は前回調査)	前回調査 (又は前々回調査)	前々回調査 (又は前々前回調査)
1 調査の実施目的を確保するための 精度管理の実施状況	○ 達成精度	必要回収数を満たす要件となるサンプル誤差率 調査対象企業からの有効回答の回収率	令和5年10月	・サンプル誤差率：目標±4%（1,727件）を超える1,826件を回収しており目標を達成。 ・回収率：目標35%に対して実際は37%。	・サンプル誤差率：目標±3%（3,013件）には届かないが、±4%（1,694件）を超える1,839件を回収。 ・回収率：目標50%に対して実際は31%。	・サンプル誤差率：目標±3%（2,995件）には届かないが、±4%（1,684件）と同レベルの1,651件を回収。 ・回収率：目標60%に対して実際は33%。
	○ 回収率・回答率					
	回収調査票数					
	カバレッジ					
	その他					
	設定なし					